1 目的

日本列島の風土と文化を基盤とし、森・川・海などの自然からの恵みによって衣食住をまかなう営 為(以下「仕事」という。)に従事する人のうち、先人の知恵や技(わざ)を受け継ぎ、同業者ある いは地域社会において模範となっている方を「聞き書き甲子園」では「名人」と称しています。

「聞き書き甲子園」では、全国の高校生が、地域の複数の「名人」を訪問し、一対一の対話によって、その知恵や技(わざ)、心、さらには人生そのものを「聞き書き」し、記録、発信します。

社会一般に「自然と向き合う仕事の大切さ」や「地域ごとに特色ある生活文化の豊かさ」をひろめ、あわせて、持続可能な未来を担う次世代を育成することを目的とします。

2 推薦の要件

- (1)「名人」は、次の全ての要件を概ね満たす方の中から推薦してください。
- ①年齢は、概ね60歳以上であること
 - ②森・川・海などの自然とかかわる仕事に従事する経験年数が20年以上であること
 - ③森・川・海などの自然とかかわる仕事において、先人からの知恵や技(わざ)を有すること
 - ④自然との関わり、身の処し方、地域社会との関わり等を通じて、同業者あるいは地域社会に おいて模範とされていること
 - ⑤高校生の「聞き書き」取材に協力できること
- (2)「名人」は、以下の職種の方を想定しています。
- ①森にかかわる仕事

造林手、炭焼き職人、猟師、山菜採り、きのこ採り、原木しいたけ栽培、漆かき職人、わざび 栽培、薬草採取、養蜂、鷹匠等

②海や川にかかわる仕事

漁師、海女、川漁師、海草採取、海苔養殖、牡蠣養殖、船大工、漁具づくり 等

- ③地域の自然資本や生態系サービスに則った伝統的な生活文化の継承にかかわる仕事 宮大工、茅葺き職人、桶・樽づくり、指物師、木地師、曲げ物師、塗師、紙漉き、竹細工、がま 細工、しな織り、草木染め、こけし作り、面打ち師、野鍛冶、伝統農法(焼畑、伝統野菜の栽培 等)、伝統的な製法による発酵食品の加工(味噌・酒づくり)や保存食づくり 等
- 3 推薦から公表までの手続き
- (1)推薦書の作成

2に掲げる要件に該当し、「名人」としてふさわしいと思われる方について。推薦書を作成し、 令和8年1月22日(木)までに事務局に提出してください。

(2)推薦人数 原則として6~8名

※協力市町村の公募申請書にもとづき、推薦いただく人数をご相談、調整させていただきます。

(3) 実行委員会における決定

提出された推薦書に基づき、高校生の「聞き書き」取材にご協力いただく「名人」は、年度内に実行委員会にて決定いたします。

(4)「名人」の取材同意書の提出

取材にご協力いただく「名人」には、高校生の取材受け入れ承諾書を提出いただきます。

4 公表

「聞き書き甲子園」を実施する市町村ならびに「名人」の情報はホームページ上で公開するとともに高校生募集等とあわせて広くマスコミにPRしますので、あらかじめご了承ください。

5 「名人」の活動

- (1) 「聞き書き甲子園」の参加高校生は、夏の事前研修にて取材方法を学び、取材する「名人」を決定します。
- (2) 「名人」と高校生の組み合わせは、令和8年8月下旬までに事務局が調整し、市町村ならびに「名人」に連絡します。
- (3) 高校生の「聞き書き」取材は、令和8年8月下旬より12月までの期間で、原則として2回、 実施する予定です。「名人」には、実行委員会より謝金をお支払いします。
- (4) 高校生の「聞き書き」作品は、冊子にまとめ、市町村ならびに「名人」へ贈呈します。
- (5) 優秀作品には、農林水産大臣賞等を授与します。受賞した高校生と「名人」のうち、ご登壇いただく数組は、成果発表会(令和9年3月下旬に都内で開催予定)へご招待する予定です。

≪問い合わせ先≫

「聞き書き甲子園」実行委員会事務局 (NPO法人共存の森ネットワーク内) 東京都世田谷区松原1-11-26-301 (担当 三木) 電話 03-6432-6580 FAX 03-6432-6590

e-mail: contact@kikigaki.net